

gorenje

RB60299



ゴレニア冷凍冷蔵庫

取扱説明書

もくじ	ページ
1. 安全上のご注意（必ずお守りください） ..	1 ～ 6
2. お使いになる前に	7 ～ 8
3. 上手な食品の納め方	9
4. 各部の名称	10
5. コントロールパネルのご使用方法	11 ～ 12
6. 各機能のご使用方法	13
7. お手入れと清掃方法	14 ～ 16
8. 故障かな？と思ったら	17 ～ 18
9. 保証とアフターサービス	20 ～ 21

このたびゴレニア製の冷凍冷蔵庫をお買い上げいただきましてありがとうございました。

高級品として定評のある冷凍冷蔵庫を有効に御利用いただくため、この説明書をご熟読の上、大切に保管して下さい。

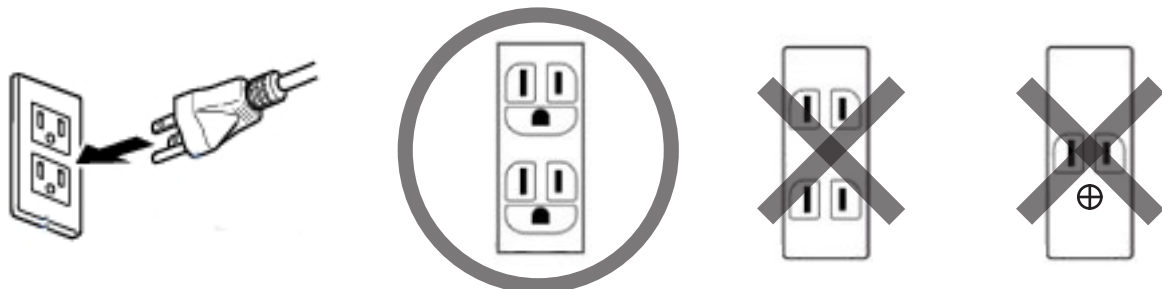
総輸入元 **ゴレニア・ジャパン**

gorenje 冷蔵庫をお求めの皆さまへ

冷蔵庫全ての機能を十分に使いこなすために、冷蔵庫をご使用になる前に必ずこの取扱説明書をお読みください。お求めになられた冷蔵庫をどうぞ末永くご愛用ください。

！ 必ず守って頂きたいこと

1. 電源は 3P(アース付) コンセントを使用し、必ずアースを接続してください。



2. 冷蔵室の背面パネルに食品を接触させると、接触面が凍ることがあります。食品は奥まで押さずに、背面パネルの間に隙間ができるよう入れてください。
3. 温度設定によって冷蔵室の背面パネルに水滴が付きます。この状態は正常です。
4. 野菜ケース右上の温度センサーを食品で塞がないでください。冷蔵庫内の温度を正しく測定できなくなり、誤作動の原因になります。

1. 安全上のご注意（必ずお守りください）

製品を正しくお使いいただくためや、お客様や他の人々への危険や財産への損害を未然に防止するために、取扱説明書および製品の表示では、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

■この取扱説明書は、お読みになったあとはいつも手元においてご使用ください。

●ここに示した注意事項は、お客様や他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。必ず守ってください。

●表示内容を見逃して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分しています。

 **警告** この表示を見逃して誤った取扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

 **注意** この表示を見逃して誤った取扱いをすると、使用者が損害を負う可能性が想定される内容及び、物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

絵表示の例



この絵表示は、気を付けていただきたい「注意喚起」内容です。



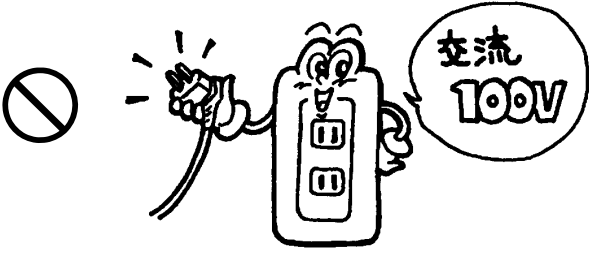
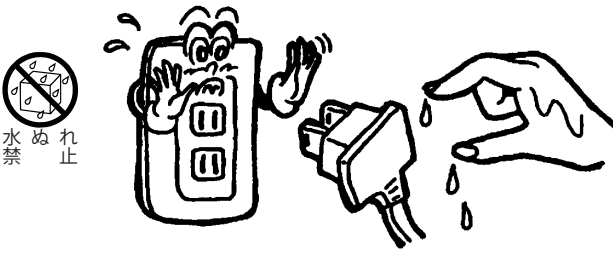
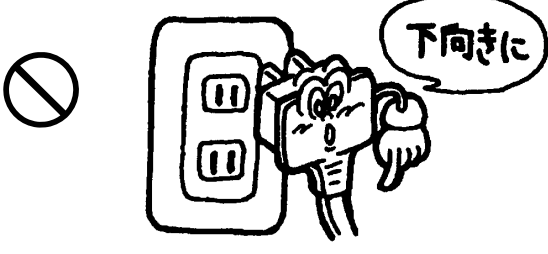
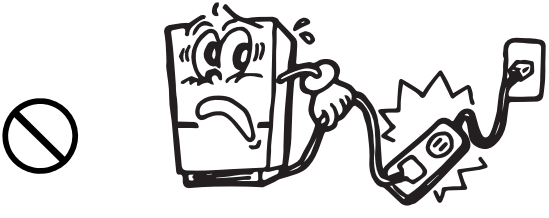
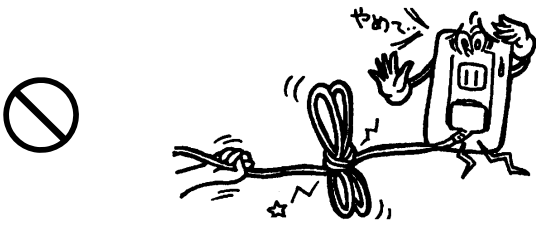
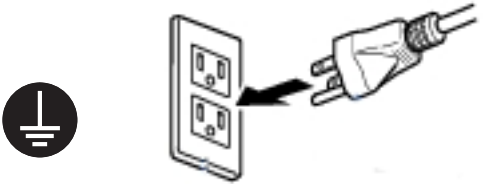
この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

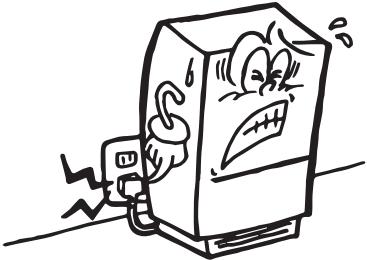
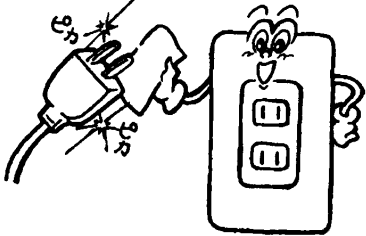


この絵表示は、必ず実行していただく「指示」内容です。

設置におけるご注意

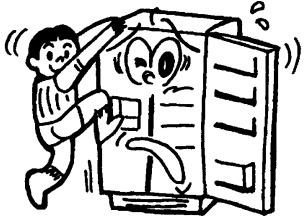
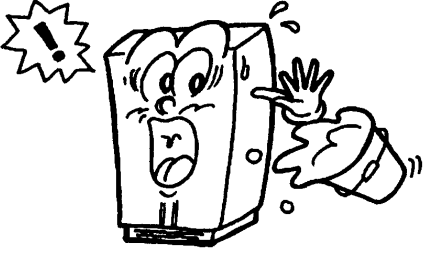
⚠ 警告

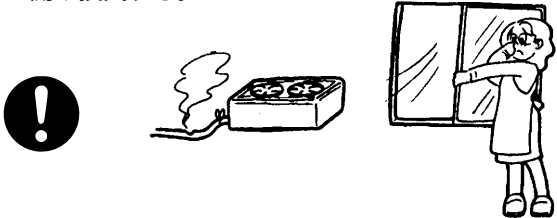
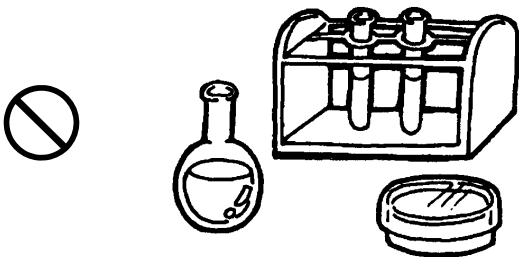
●電源は交流 100V 以外使わない。  火災・感電・故障の原因となります。	●傷んだコードや電源プラグ、ゆるんだコンセントは使わない  ショート・漏電・感電・発火の原因になります。
●ぬれた手で電源プラグを持たない。  感電やけがをすることがあります。	●電源プラグはコードが下向きになるように差し込む。  逆に差し込むとコードに無理がかかり、ショート・加熱・感電の原因になります。
●分岐コンセントを使用しない。  タコ足配線をすると、異常発熱して発火することがあります。 定格 15A 以上のコンセントを単独で使用してください。	●電源コードを破損、加工、変形、たばねたり、引張ったり、無理に曲げたりしない。  重いものを載せたり、はさみ込んだりすると、コードが破損し、火災・感電の原因になります。
●アース（接地）を確実に取付ける。  故障などの漏電により感電する恐れがあります。 アース工事は必ず電気工事店に依頼してください。	●地震などによる冷蔵庫の転倒防止の処置をしてください。  振動により冷蔵庫が転倒し、けがの原因になります。

●電源プラグを冷蔵庫で押付けない。  傷つき過熱し、発火する恐れがあります。	●電源プラグはコードを持って抜かない。  コードが傷み感電やショートして発火することがあります 必ず電源プラグを持って抜いてください。
●土間などの湿気の多いところや水のかかるような場所への設置はさける。  電気絶縁が悪くなり、感電や火災の原因になります。	●電源プラグの刃や刃の取付け面のほこりはきれいにふきとり、刃の根元まで確実に差込む。  電気絶縁が低下し、火災の原因になります。

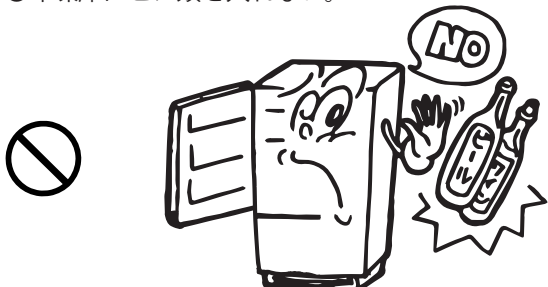
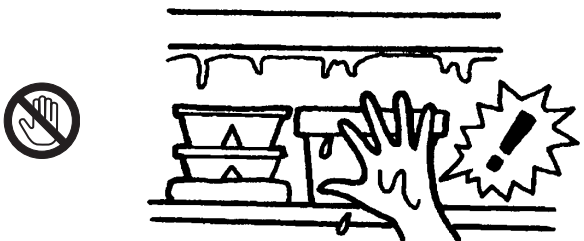
使用時におけるご注意

⚠ 警告

●引火しやすい物はいれない。  エーテル・ベンジン・LPガス・接着剤などは、引火爆発の危険があります。	●ドアにぶらさがったり引き出しドアに乗ったりしない。  倒れたり、手をはさんだりしてけがをすることがあります。
●本体や庫内に水をかけない。  電気絶縁が低下し、感電、火災の恐れがあります。	●可燃性スプレーを近くで使わない。  ドアスイッチなどの電気接点の火花で引火する危険があります。

●可燃性ガスが漏れているときは、冷蔵庫に触れず窓を開け換気する。  ドアスイッチなどの、電気接点の火花で引火爆発し、火災ややけどの原因になります。	●冷蔵庫の上に水を入れた容器を置かない。  こぼれた水が電気部品にかかると、絶縁が悪くなり漏電し、火災、感電の恐れがあります。
●薬品や学術資料を保存しない。  厳しい管理を必要とするものは家庭用冷蔵庫では保存できません。	

⚠ 注意

●冷蔵庫の上に物を置かない。  ドア開閉などで落下し、けがをすることがあります。	●冷凍庫にビン類を入れない。  中身が凍って割れ、けがをすることがあります。
●冷凍庫の食品や容器をぬれた手で触らない。  凍傷になる恐れがあります。(特に金属製容器)	●長時間で使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。  絶縁劣化による感電や漏電、火災の原因になります。

●戸棚前列には底まで入らないビン類は入れない。



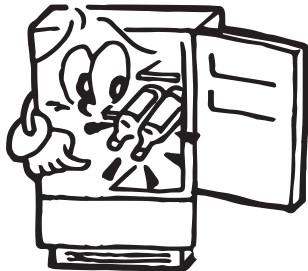
無理に入れると、扉開閉時に落下し、けがをすることがあります。

●冷蔵庫底面に手を入れない。



清掃するとき、本体の底面に手を入れると鉄板で手を切る恐れがあります。

●食品は庫内棚より前に出さない。

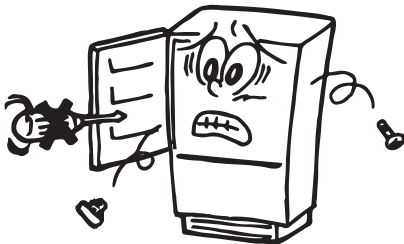


ビン類などが引っ掛かって落下し、けがをすることがあります。

お手入れ・その他のご注意

⚠ 注意

●分解・修理・改造は絶対しない。



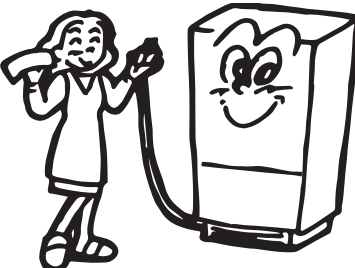
発火したり、異常動作してけがをすることがあります。
※分解や修理が必要なときは、販売店へご相談ください。

●お手入れの際は、必ず電源プラグを抜く。



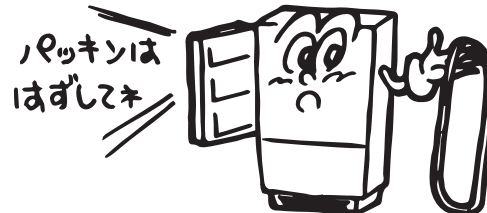
感電やけがをすることがあります。

●庫内灯を交換するときは、必ず電源プラグを抜く。



抜かずに作業をすると感電する恐れがあります。

●廃棄処分するときはドアパッキンを取外す。



幼児が閉じ込められると危険です。
※ドアパッキンの取外しは販売店にご相談ください。

移動・設置時のご注意

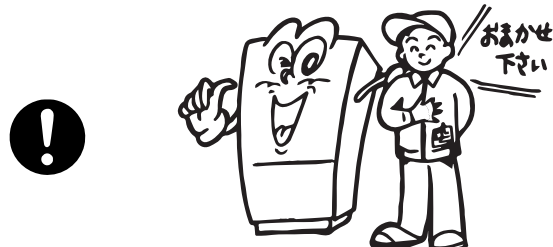
⚠ 注意

- 移動させるときは保護用の板を敷く。



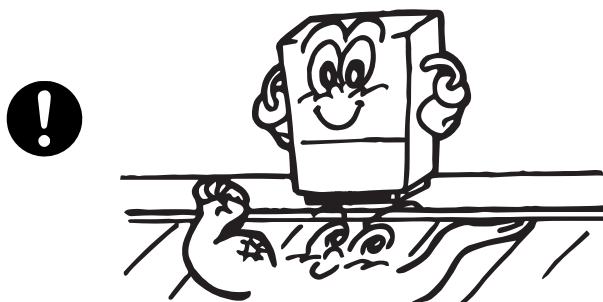
むりに移動させると床に傷をつけます。

- 運搬するときは専門家に依頼する。



手がすべってけがをする恐れがあります。
※重量があるので運送店にご相談ください。

- 設置するときは丈夫な床を選ぶ。



重量がありますので床が破損する場合があります。

こんな時にはこんな注意が必要です。

- 一度運転を停止したら5分以上待つ

圧縮機に無理がかかり故障の原因になります。

電源を抜いたりスイッチを切ったら再運転まで5分以上待ってください。

- 停電したらスイッチを切るか、差込みプラグをコンセントから抜く

短時間(5分以内)で復旧すると圧縮機に無理がかかり故障原因になります。

再運転まで5分以上待ってください。

- 長時間使わないときには

庫内を清掃し、2～3日間ドアを開けて乾燥させる。(カビの発生、においの防止)

清掃するときは電源プラグを抜いてから行なってください。

2. お使いになる前に

設置前に

- 輸送や梱包等のため、ホコリやテープの跡が残っている場合があります。ご使用される前に、清掃してください。

外部のテープの跡はアルコールを浸した布で軽く拭くときれいに取れます。シンナーやベンジン等は塗装を傷めますので、絶対に使用しないでください。内部は布に薄い中性洗剤かぬるま湯を含ませて拭き取ってください。

- 設置直後にスイッチを入れないでください。

冷蔵庫の配線内部に冷媒ガスやオイルが注入しており、運搬中はこれらが不安定な状態にあります。したがって設置後2時間以上たち冷媒ガスやオイルが安定してから運転してください。

警告

- 設置する部屋は機器に対して十分な広さがあることを確認してください。

8㎡(冷媒8g 当たり1㎡)の広さが必要です。冷媒の量については冷蔵庫内部のラベルに記載してあります。

設置

- 水気や湿気の少ない所に据付けてください。

水のかかるところや湿気の多いところに据付けると、漏電の原因になったり、本体がさびるのでご注意ください。

- 直射日光や熱気等のあたらないところを選んで設置してください。

冷蔵庫の周囲が熱せられると、冷却力が低下し、電気代が多くなります。直射日光、熱気にあたらず 風通しの良い場所が最適です。周囲温度が13℃以下或いは43℃以上になると機能しなくなることがあります。

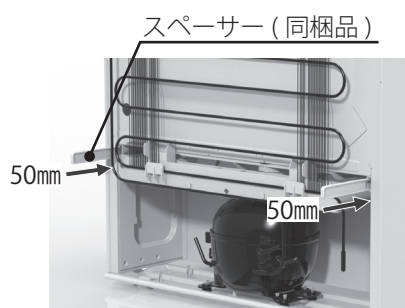
- 冷蔵庫を据付ける床はしっかりとした水平なところを選んでください。

床がしっかりしていないと音や振動がでることがあります。床が弱い場合やたたみ、じゅうたんのような敷物の上に据付ける場合は、冷蔵庫の床面積以上の大きい丈夫な板を敷いて、その上に据付けてください。

※直接たたみ、じゅうたんのような敷物の上に据付けた場合、重さで冷蔵庫が沈み、底部の圧縮機がたたみ、じゅうたんに触れ、すき間がなくなるので空気の流れが悪くなり、冷えにくくなる場合があります。

- 冷蔵庫背面にスペースを設けてください。

コンデンサーを冷却するため背面に50mmの隙間を設けてください。

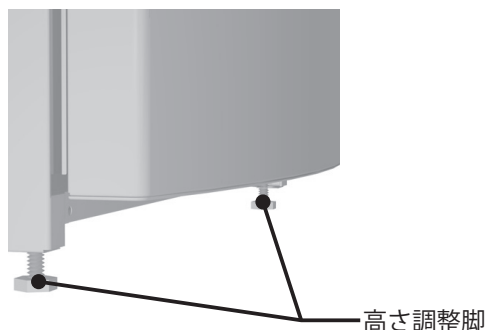
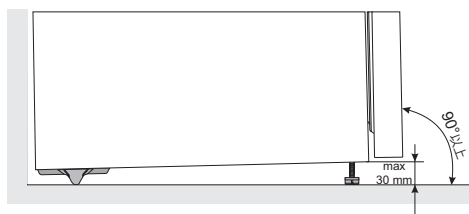


●冷蔵庫には移動を容易にするためのローラーが付いています。

ローラーは冷蔵庫の後側に2脚あります。

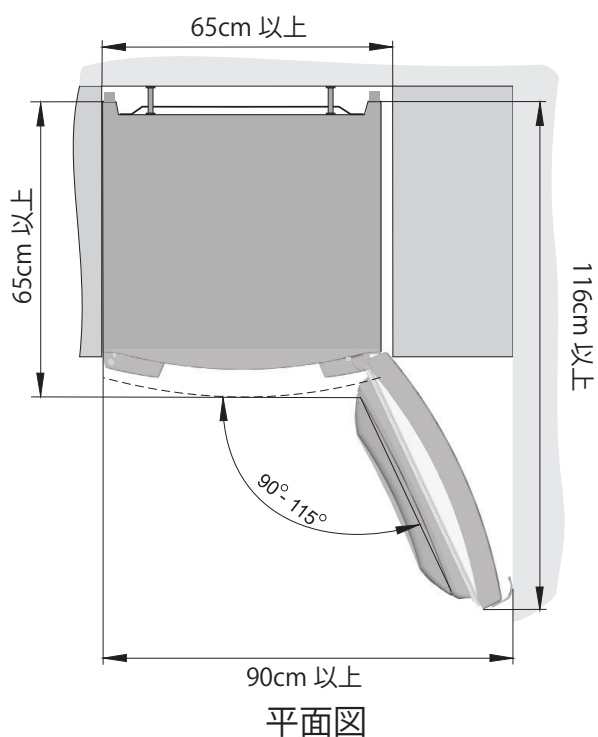
●冷蔵庫の固定

冷蔵庫の前側下に高さ調整脚があります。
左右を水平に前後はドアが軽く閉まるように
前が少し高くなるように調整してください。



●周囲のすき間

この冷蔵庫は背面に放熱板があり、給気と排気スペースが必要になります。
またドアの開き勝手、前後の移動を考慮して下図のよう、周囲にすき間をあけてください。



●冷蔵庫の前や周囲に物を置かない。

空気の流れが悪くなり冷えにくくなります。

●室内環境

室温が16～32℃の範囲を超える場所に設置すると冷却効果が下がります。

室温が16～32℃の範囲を超える場所には設置しないでください。

●電源

電源電圧が100V(ボルト)の電源に接続し、15A(アンペア)の専用コンセント(3P)をお使いください。

又、必ずアースを接続してください。

3. 上手な食品の納め方

設置が完了したら

庫内をきれいに清掃しよう

湿らせた柔らかい布で庫内を清潔に清掃してください。



十分に冷やしてから食品を入れてください

電源を入れてもすぐには冷えません。

※夏場など周囲温度の高いときは、4時間以上かかることがあります。



食品を入れるときには

きれいにふいてから入れる

きれいに見えても意外に汚れています。



包んでしまう

乾燥や移り香を防ぎます。



冷まして入れる

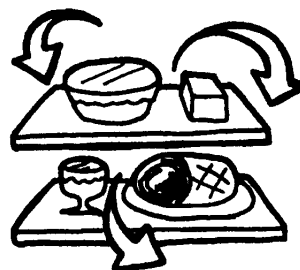
熱い物をそのまま入れると、庫内の温度を上げ、電気代のムダになります。



食品を上手にいれるには

充分にすき間をあける

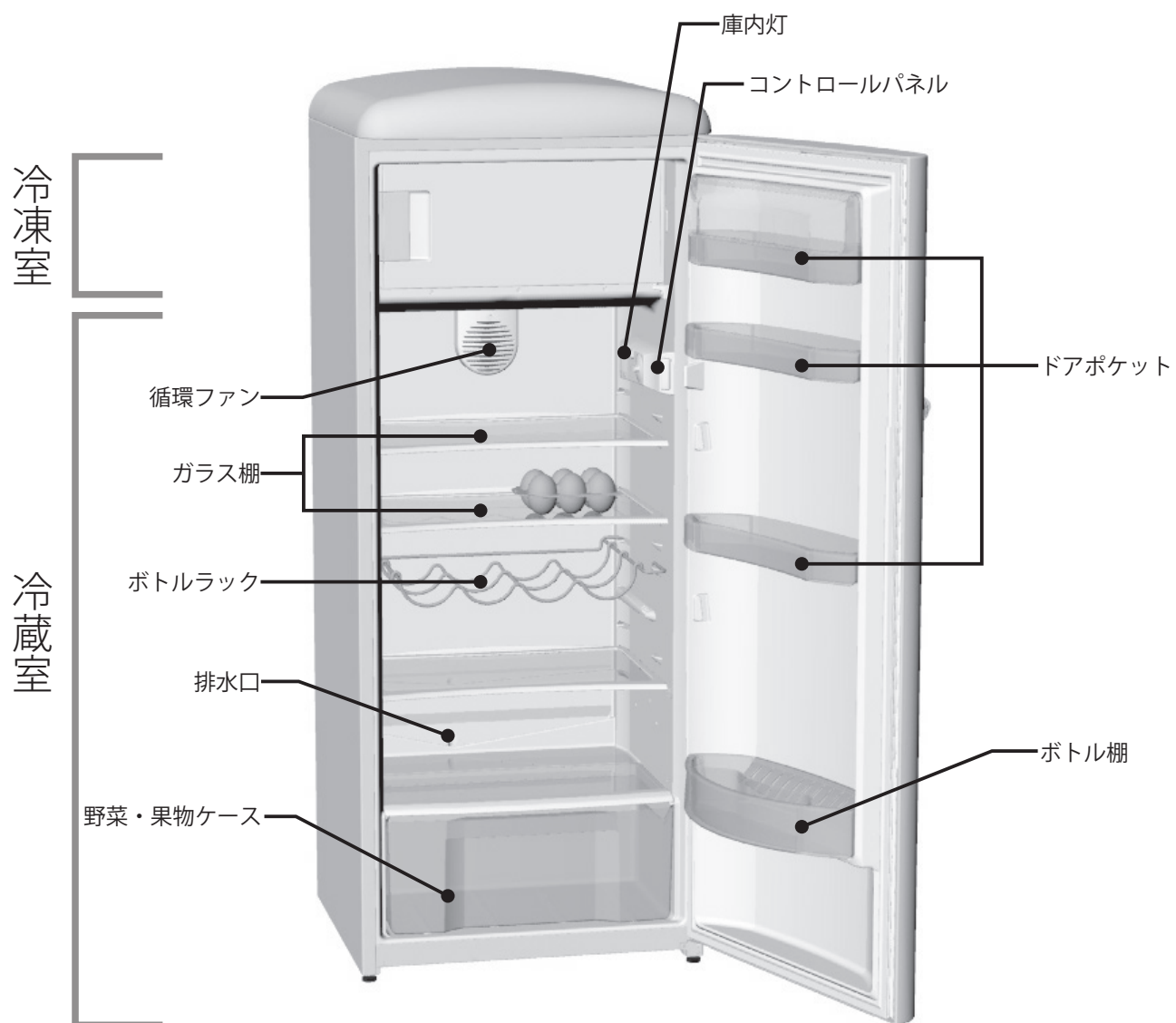
食品をつめすぎると冷気の循環が悪くなり、冷えにくくなります。棚からはみ出さないように入れてください。



冷気の噴出し口を食品でふさがない



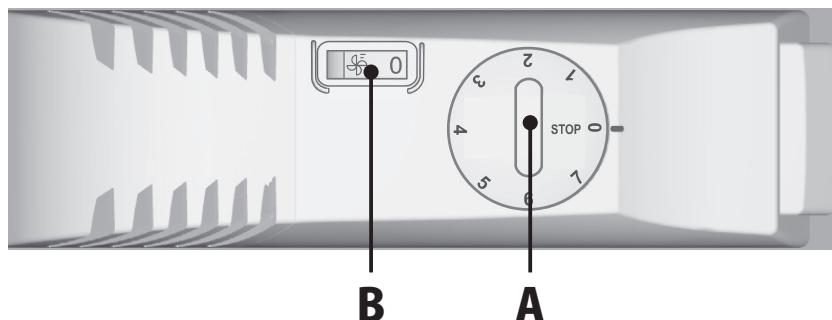
4. 各部の名称



5. コントロールパネルのご使用方法

設置後 2 時間以上経過したらスイッチを入れてください。

各部の名称

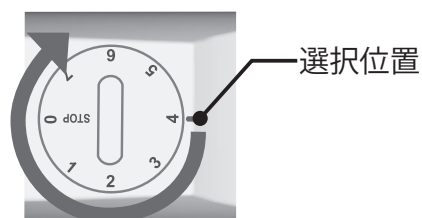


- A. 温度設定・ON/OFF ダイヤル
- B. 循環 FAN ON/OFF スイッチ

温度設定

冷蔵室内上部に温度設定があります。

- ツマミを矢印のように時計方向へ動かすと温度が下がります。
- 冷蔵庫へ食品を入れたら約 24 時間待ってください。
庫内が十分に冷える前に食品を追加すると食品が腐ることがあります。



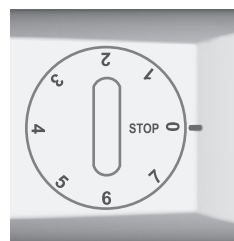
⚠ 注意

- 最大に設定すると庫内が冷え過ぎる場合があります。
- 冷蔵室温度調整、冷凍室温度調整を必要以上に低温側へ設定しても庫内の温度が下がる速さは早くなりません。

6. 各機能のご使用方法

● ON/OFF ダイヤル

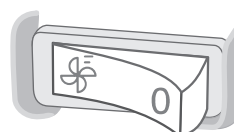
ダイヤルを **STOP** の位置にすると冷蔵庫の電源は**OFF**になります。



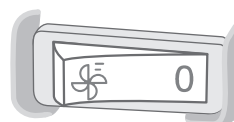
●循環 FAN ON/OFF スイッチ

庫内の空気を循環させることにより温度をより均一化できます。

注意：循環ファンを ON にすると庫内の温度が設定した温度より低くなる場合があります。その為、循環ファンを ON にした際は庫内の設定温度を見直してください。



循環 FAN : ON



循環 FAN : OFF

●ガラス棚

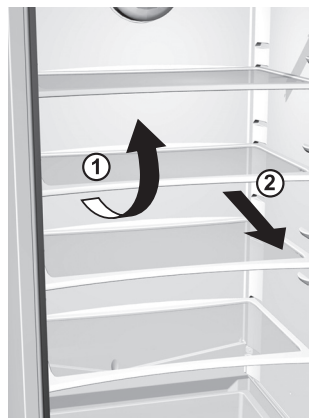
貯蔵する容器の大きさに合わせ、棚の位置が調整できます。

〈取外し方法〉

- ①手前を上を持上げてください。
- ②棚を手前に引いてください。

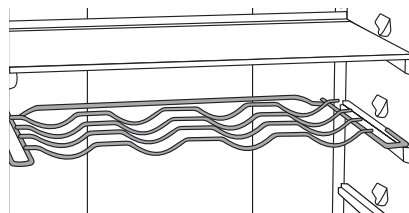
〈取付け方法〉

- ①冷蔵室奥の溝に合わせて棚を差し込んでください。



●ワインボトルラック

庫内の溝に合わせて、ボトルラックの位置が調整できます。



⚠ 注意

- ガラス棚板を取付けるときは、ガラス棚板の前後に注意してください。
前後を逆に入れるとドアがしまりません。無理にドアを閉めるとドアポケットやガラス棚板が破損する恐れがあります。
- 棚及びボトルラックには1段あたり13kg以上載せないでください。

●野菜・果物ケース

食品を新鮮に貯蔵するため、ケース内に湿気をとじこめて乾燥を防ぎます。

⚠ 注意

- 野菜ケースにストッパーがないため、ケースを引出した勢いで落下しけがをする恐れがあります。
野菜ケースを引出すときは、両手でケースを支えゆっくりと手前に引いてください。

⚠ 注意

- ドアの開閉は静かに行ってください。強い力でドアを押すと、ドアを押した反動でドアがしっかり閉まらない場合があります。

7. お手入れと清掃方法

注意

- 怪我を負ったり、物的損害を被ることがないように、必ず掃除用品のメーカーの注意書きをご熟読の上、その指示に従ってください。
- 電源コードを抜いてから、お手入れや清掃をしてください。

冷蔵庫表面（一般的なお手入れと掃除法）

1. 冷蔵庫の表面は、温かい石鹸水を浸したきれいな柔らかい布で拭き洗いしてください。
2. めるま湯に浸した柔らかい布で表面に残った溶液を完全に洗い流し、きれいな柔らかい布で乾拭きしてください。

注意：以下のものは絶対に使用しないでください。

研磨剤を含んだクリーナー・アンモニア溶液・シンナー・塩素漂白剤

洗剤や溶剤の原液・金属たわし類

これらを使用すると表面にキズがついたり、ひびが入ったり、塗料が剥がれ変色を起すことがあります。

また冷凍・冷蔵室の収容容器や棚などは、食器洗い機で洗わないでください。

ドア・パッキンについて

ドアのパッキンは常に清潔に保ってください。きれいな柔らかい布を使用し、めるま湯か薄めた中性洗剤（食器用洗剤）で拭き洗いしてください。3～5ヶ月毎に徹底的に掃除してください。

消臭について

1. 食品を全て取出して、冷蔵庫の電源を抜いてください。
 2. きれいな柔らかい布を使用し、めるま湯か薄めた中性洗剤（食器用洗剤）で内部を拭き洗いしてください。隅やくぼみや溝は特に念入りに掃除してください。
 3. めるま湯で表面に残った洗剤を完全に洗い落とし、きれいな柔らかい布で乾拭きしてください。
- 注意：中性洗剤を原液を使用したり拭取りが不十分だと、プラスチック部分が割れることがあります。**
4. 冷蔵庫の電源を接続して、食品を入れてください。この際に全てのボトル類や容器類やビン類は洗浄して完全に乾かしてから入れてください。24時間後に臭いが取れたことを確認してください。それでも臭いが取れない場合は1～3の手順を繰返し、以下のことを行ってください。
 5. 野菜・果物ケースを冷蔵室の一番上の棚に入れてください。扉部分を含めた冷蔵室と冷凍室に新聞紙を丸めて入れてください。
 6. 新聞紙の間に炭を適当に入れてください。
 7. 冷蔵庫の扉を閉じて24～48時間放置してください。

庫内灯

庫内灯は電球を使用しています。

点灯しなくなった場合は、お買い求めの販売店またはゴレニアジャパンまでご連絡ください。

熱交換器について

熱交換器は冷蔵庫の背面にあります。

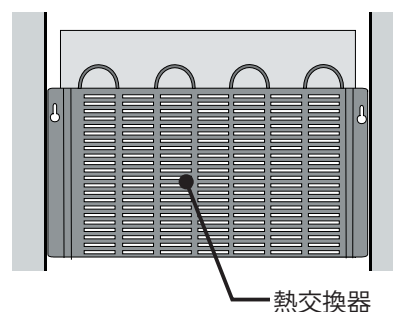
冷蔵庫の性能を維持するために3ヶ月毎に掃除してください。

ほこりや糸くずが溜まると次のような障害が発生します。

- 冷却能力の低下
- エネルギー消費量の増加
- 冷却器の寿命短縮

〈清掃方法〉

1. 冷蔵庫の背面に熱交換器があるため、固定脚を緩めて冷蔵庫を手前に引出します。
2. 熱交換器をノズルを装着した電気掃除機で掃除してください。
3. 足下のベースグリル（格子部）を装着するにはクリップ部を穴に入れてカチッと音がするまで押込んでください。
4. 冷蔵庫を手前に引出して、背面の冷却器ファン吹き出し部をブラシを装着した電気掃除機で掃除してください。



⚠ 注意

床を傷付けない様、床に段ボールや敷布をひいて、床材を保護してください。

ガラス棚について

ガラス棚はタオルの上に置いてください。ガラス棚は、室温になるまでしばらく放置してから掃除を行なうようにしてください。くぼみ部の洗浄には次の手順に従ってください。

1. マイルド系の洗剤を水で薄め、プラスチック製の硬めのブラシを用いてブラッシングして、5分間ほど放置してください。
2. めるま湯をくぼみ部にスプレーしてください。
3. ガラス棚は完全に乾いてから装着してください。

⚠ 注意

怪我を負ったり、物的損害を被ることのないように、強化ガラス棚の取扱いは慎重に行なってください。棚は、キズつけたり急激に温度変化させると突然割れることがあります。

排水口について

矢印の箇所に庫内の水分を庫外に逃がすための排水口があります。
排水口がつまると水漏れの原因になりますので定期的に清掃してください。
割箸等の先のとがったものに布を巻付けて、矢印の箇所の排水口を清掃してください。



8. 故障かな？と思ったら

問 題 点	処 理 方 法
A 冷凍庫が動作しない。	1. 冷蔵室のコントロール部が「ON」になっていることを確認してください。
	2. 冷蔵庫の電源プラグが接続されていることを確認してください。
	3. ヒューズやブレーカーが「OFF」になっていないか確認してください。
	4. 40 分間放置して動作するかももう一度確かめてください。冷蔵室のコントロール部が「ON」になっていて、ランプが点灯しているにも関わらず 2 つのファンと冷却器が動作していない場合は、霜取りサイクルに入っている可能性があります。
B 上記を確認しても動作しない。	1. 冷蔵庫の電源を抜き、中のものを別の冷蔵庫に移動するか、冷凍室にドライアイスを入れて食品を応急保存してください。食品の損失は保証の対象にはなりません。具体的な保証対象については保証書をご確認ください。
	2. 販売店、もしくはゴレニア・ジャパン TEL050(5804)0343 に連絡してください。
C 食品の温度が高すぎる。	1. 冷蔵庫に入れたばかりの温かい食品が冷凍室や冷蔵室の温度まで冷えるのをお待ちください。
	2. ドアパッキンの密封性を確かめてください。
	3. 熱交換器の掃除を行なってください。
	4. 冷凍室や冷蔵室のコントロール部を調整してください。
D 冷蔵室の温度が高すぎる。	1. コントロール部を低い温度に設定してください。
	2. 引出しが冷気取入れ口の上の正しい位置にあることをご確認ください。
E 食品の温度が低すぎる。	1. 熱交換器の掃除を行なってください。
	2. 冷蔵室のコントロール部を調整してください。
	3. 冷凍室のコントロール部を高い温度へ調整してください。温度が変わるまで数時間かかります。
	4. 湿気の多い季節や扉を頻繁に開けた場合には正常です。
F 冷蔵庫が頻繁に動作する。	1. 温度を一定に保つために正常である場合があります。
	2. 冷蔵庫の扉が頻繁に開けられたり、長時間開けた状態にある可能性があります。
	3. 冷蔵庫に入れたばかりの温かい食品が冷凍室や冷蔵室の温度まで冷えるまでお待ちください。
	4. 熱交換器の掃除を行なってください。
	5. 冷凍室のコントロール部を調節してください。
	6. ドアパッキンの密封性を確かめてください。
G 冷蔵庫内に水滴がつく。	1. 湿気の多い季節や扉が頻繁に開けられる場合には正常です。
	2. ドアパッキンの密封性を確かめてください。

問 題 点	処 理 方 法
H 冷蔵庫の外側の表面に水滴がつく。	1. ドアのパッキンの密封性を確かめてください。
	2. 湿度の高い季節では問題ありません。
	3. コントロール部の設定方法を参照して、コントロール部が正しく設定されているかを確認してください。
I 野菜・果物ケースの扉が引っかかって閉まらない。	1. 中の食材が引っかかってないか確認してください。
	2. 引出しが所定の位置にあるか確認してください。
	3. 冷蔵庫が水平になっているか確認してください。
	4. 引出しの溝を温かい石鹼水で掃除してください。掃除後は必ず石鹼水を洗い流して乾拭きで拭取ってください。
	5. 引出しの溝にワセリンを薄く塗ってください。
J 冷蔵庫から臭いがする。	1.P14の「消臭について」をご覧ください。
K 冷蔵室背面の壁に水滴が付く。	1. 冷蔵室背面の壁は冷却板になっています。 その為、水滴が付くことがあり正常な状態です。

※サービスを依頼される前にもう一度「故障かな?と思ったら」をご確認ください。



警告

- 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造は行なわないでください。
発火したり、異常動作してけがをすることがあります。



省エネの為のヒント

この冷蔵庫は、最もエネルギー効率の優れた冷蔵庫として設計されていますが、次の事柄を守ってさらに省エネに努めてください。

- 熱発生源から離れた場所で直射日光を避けて 16 ～ 38℃の範囲の室温でご使用ください。
- 冷蔵庫のコントロール部を必要以上に低い温度に設定しないでください。
- 冷凍室は常にスペースのある状態に保ってください。
- ドアパッキンを清潔に保ち、硬化しないようにしてください。劣化した場合は新しいパッキンに取替えてください。
- 熱交換器を清潔な状態に保ってください。

家を留守にする際のヒント

短期間家を空ける場合は、次のことを行なってください。

1. 腐りやすい食品は処分してください。食品の損失は保証対象とはなりません。保証対象について詳しくは、保証書をご確認ください。

長期間家を空ける場合は、次のことを行ってください。

1. 冷蔵室と冷凍室を空にしてください。
2. 冷蔵庫の電源を抜いてください。
3. P14 の「お手入れと掃除方法」に従って冷蔵庫の掃除を行なってください。
4. 冷蔵庫内部の空気が循環するように扉を開けた状態に固定してください。



注意

- 長時間で使用にならないときは必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。



9. 保証とアフターサービス

保証書について

- (1) この冷蔵庫には保証書がついています。保証書は販売店にて所定の事項を記入してお渡しいたしますので、記載内容をよくお確かめの上、大切に保存してください。
- (2) 保証期間は、お買い上げの日から1年間です。保証期間内の故障のうち製造上に起因する故障については、保証書の規定に従って無償修理いたします。
- 保証期間内の修理については、保証書を準備のうえお買い求めの販売店またはゴレニア・ジャパンへお申し出ください。
- (3) 保証期間後の修理については、お買い求めの販売店またはゴレニア・ジャパンまでご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料で修理させていただきます。

点検のお願い

次のような症状やその他の異常があるときは、事故防止のため直ちに本機の使用を中止しお買い求めの販売店またはゴレニア・ジャパンまで点検・修理をご依頼ください。

- こげくさいにおいがしたり、運転中に異常な音や振動がする
- 冷蔵庫に触れると、ビリビリ電気をを感じる
- その他の異常や故障がある
- 時々運転しなくなる

修理を依頼されるとき

修理を依頼される前に、P17の「故障かな？と思ったら」をよくお読みの上で確認の後、事故防止のためすぐに電源プラグを抜いて、お買い求めの販売店またはゴレニア・ジャパンまでご連絡ください。

お伝えいただきたいこと	
品名	ゴレニア 冷蔵庫
型式	RB60299
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ詳しく

補修用性能部品の保有期間

冷蔵庫の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年です。

- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です

お問い合わせは

ゴレニア・ジャパン

TEL : 050-5804-0343

E-Mail : info@gorenje.com

ゴレニア 冷凍冷蔵庫 保証書

品名			型式	
製造番号			設置年月日	
お客様	お名前			
	ご住所	〒		
	電話			
販売店	住所	〒		
	名称			
	電話			

ゴレニア・ジャパン

お買い上げいただきました製品を構成する各部品に、万一材料上あるいは製造上に起因する瑕疵があった場合、次の通り保証いたします。

1. 保証の範囲

正常なる使用状態において次に示す保証期間内に、製品を構成する部品に材料上あるいは製造上に起因する故障（瑕疵）が発生した場合、これを無償修理いたします。

2. 保証期間

保証期間は、最初に据付けた日から1年間といたします。

ただし、圧縮機、凝縮器、冷却器および冷媒配管の保証期間は、最初に据付けた日より3年間とします。

3. 保証の適用除外

(1) 次の場合の故障または損傷は、保証期間であっても有償修理となります。

(ア) ご使用目的が一般家庭以外の場合。

(イ) 本機器お引渡し後の内装・外装部品（棚・パネル・ノブ等）の損傷。

(ウ) 取扱の不注意あるいはご使用上の誤りによる場合。

(エ) 不当な修理や改造に起因する場合。

(オ) いったん据付けたあとの移動等により生じた場合。

(カ) 火災・水害・公害その他地変に起因する場合。

(キ) 水を電気回路部品にかけてしまう等の誤った清掃等による場合。

(ク) 電源電圧が頻繁に95V以下に下がる等、電源電圧が安定しない地域での使用の場合。

(コ) 船舶又は車両等一般家庭以外で使用の場合。

(サ) 当社指定の消耗品（ランプ、フィルターなど）

※なお、特に業務用としてご使用される場合は上記3.(1)(ア)項に準じて保証の適用除外となります。又、これに起因して発生した事故等の責任は負いかねます。

(2) 本保証書のご提示がない場合、または、本保証書の所定事項が未記入あるいは字句を書き換えられた場合は保証期間内であっても有料修理となります。

4. 保証修理の受け方

(1) 保証修理はお買い上げいただきました販売店または当社のいずれかにお申し出ください。

(2) 保証修理をお受けになるときは、本保証書をご提示ください。

※ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。

※ご贈答等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合は当社にご相談ください。

5. 出張費

保証期間中の出張費は通常無料ですが、転居された場合及びご贈答された場合などで通常のサービス地域外になった時は出張に要する実費を頂きます。また、離島及び離島に準じる遠隔地への出張修理を行った場合には、出張に要する実費を頂きます。

6. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。

This warranty is valid in Japan.

この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて保証修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理についてご不明の場合はお買い上げの販売店または当社にご相談ください。

7. 保証期間経過後の修理について

修理すれば使用できる商品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

ただし、補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後6年です。

※性能部品とは、その製品の機能を維持する為に必要な部品です。

8. お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただきます場合がございますので、ご了承ください。

愛情点検

ご使用の冷蔵庫の点検を！



据え付けしてから4～5年経過しましたら、より長い期間安全にお使いいただくために、点検をおすすめします。
点検はお買い上げの販売店、または当社のサービス受付窓口にご依頼ください。

ゴレニア・ジャパン

電話 : 050-5804-0343

E-mail : info@gorenje.com

